発行日　2019年　2月　No.30

彦根市立病院

地域連携だより

彦根市立病院
〒522-8539　滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL：0749-22-6050（代）

問い合わせ先　彦根市立病院　地域医療連携室
TEL：0749-22-6053　FAX：0749-22-6093

いつもありがとうございます

お待たせしました　新規導入しました！　技術で期待に応えます

当科は、「患者さんが安心して撮影・検査が受けられるよう、安全で患者さん中心の業務を行う」を科内目標として技師17名で日々業務を行っています。

当科には、CT検査装置・MR検査装置・血管造影検査装置・核医学検査装置・乳房撮影装置など、多くの医療機器が設置されています。これらの装置を駆使して質の高い画像を提供することは、医師に患者さんの状態を正確に把握していただくことと読影医に詳しい画像情報を伝える目的としています。

平成30年2月にガンマカメラ、3月に全身用骨密度装置、5月には湖東・湖北保健医療圏域ではじめてとなる320列CTを導入し、最新の技術を習得して、患者さんの負担が少なく診断能の高い画像を撮像しています。

また、脳血流SPECT検査は、脳血流の分布の違いを画像化して認知症診断検査として役立っています。

放射線技師は、日進月歩で進む医療の高度化に対応するため、X線CT認定技師、核医学専門技師、マンモグラフィ撮影認定技師等を取得することで、画像検査を通じて地域の医療向上に寄与しています。

今回紹介する放射線治療部門においても放射線治療専門技師が治療・治療計画に携わって、より高度な技術を患者さんに提供しています。また、医師・看護師・コメディカルとも密接にかかわる部署となっています。

放射線科　科長　鳥居　裕之

最新放射線治療機器「Synergy」（社製　Elekta）による治療再開

平成31年2月1日より最新放射線治療装置「Synergy」 **（社製　Elekta）**による放射線治療を再開します

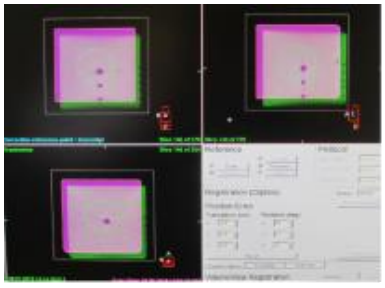
◆「Synergy」（社製　Elekta）特徴

照射可能な放射線のエネルギーが、エックス線(4,6,10MV)と幅広いため、治療部位に最適な設定ができます。照射する範囲を形成するマルチリーフコリメータ（5mm幅 80対）により40 cm×40cmまでの照射野で腫瘍の形に合わせた最適な形状の放射線ビームを照射可能です。

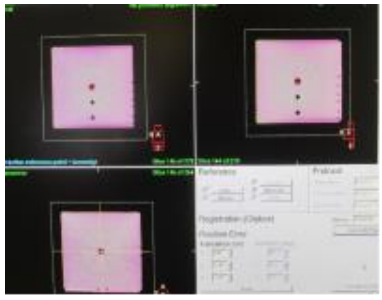
治療装置の性能向上により、放射線治療の精度が急速に進歩します。正常な組織にはできるだけ放射線を当てず、病巣のみに集中的に照射することが可能になったことで、治療効率も向上し副作用の少ない放射線治療の実現が可能となっています。つまり、正常な細胞を傷つけることなく、放射線を治療部位に照射することができます。

◆画像誘導放射線治療 IGRT

kvX線管球とフラットパネル（X線検出器）が治療機に搭載されておりX線CT撮影が可能なため軟部組織まで判別できるので、より正確な位置決めが可能になりました。また、6軸補正が可能な治療寝台と併用し、これまで以上の高精度な位置決めを実現することができます。



x yz軸の三次元で位置を修正



◆体表面光学式トラッキングシステム「Catalyst」

放射線を使わない位置合わせシステムで、患者さんの体輪郭を光学カメラで判断し、位置のずれの補正を手助けします。また、放射線照射中の患者さんの動きをモニタリングでき、安全に放射線治療を行うことができます。

かかりつけ医の先生へ

装置の見学をご希望の場合は、放射線治療室（0749-22-6050　内線0196）へお電話ください。随時、対応させていただきます。

紹介患者さまのご予約は、地域医療連携室へお願いします。

放射線治療外来のご案内

2
2019

当院では、週2回 月曜日と木曜日（9：00～15：00）放射線治療外来診察を行なっています。放射線治療医は、京都大学医学部附属病院放射線治療科から吉村通央（講師）先生を含む2名を派遣していただいています。

放射線治療が適応の患者様がおられましたら、放射線治療に関するご質問から高精度放射線治療のご案内まで対応させていただきます。 当院の地域医療連携室までお電話ください。 放射線治療診察日に合わせ、当院の当該科予約と放射線治療診察予約（同一日）をご案内します。

◆放射線治療の流れ

放射線治療の適応

紹介いただいた患者様は、当院の当該科の医師が診察をさせていただきます。その後、放射線治療医が診察をさせていただきます。

治療計画

放射線治療開始前に、CTと治療計画装置（コンピューター）を使い、病巣や周囲の正常組織の位置を正確に把握し、どの部位に、どの方向から、どのくらいの量を何回に分けて照射するかを検討し、治療計画を立てます。

放射線の照射

毎回の治療は、マーキングをもとにしてIGRT・Catalystを使用して照射部位を正確に把握し、診療放射線技師が行います。一般的な治療に要する時間は、治療室に入ってから出てくるまで10～20分程度です。

経過観察

日々の照射後に治療の効果と副作用などを調べるために当該科医師の診察、放射線治療外来日は放射線治療医の診察を受けていただきます。放射線治療完了後も定期的に受診することが必要です。副作用（晩期障害）は数ヵ月以上たってから現れることもあります。

◆放射線治療の特徴

放射線治療は、手術、抗がん剤とならぶがん治療の柱の一つです手術と異なり以下のような特徴があります。

1. 手術に比べて肉体的な負担が少ない
2. 機能・形態を温存しながら治療ができる
3. 全身状態がよければ外来通院で治療ができる

上記のような特徴があることから、手術の適応とならない高齢者や全身状態の不良な場合、既にがんが進行していて手術の適応とならない場合でも治療が可能です。

また、治療そのものによる苦痛が少なく、手術で切除困難な場合でも治療を行えることからがんによる様々な苦痛を和らげるための治療も可能です。

◆放射線治療の対象

放射線治療は、様々な固形悪性腫瘍と一部の良性疾患が適応となります。

疾患によっては、手術、抗がん剤と組み合わせて治療を行うことでより高い効果を発揮するものがあります。

放射線治療目的

- 根治治療　頭頸部腫瘍　肺癌　食道癌　前立腺癌　悪性リンパ腫　など
- 予防治療　乳癌乳房温存手術後　予防的全脳　など
- 姑息治療　婦人科腫瘍（子宮頸癌など）　脳腫　など
- 対処治療　骨転移　脳転移　SVC症候群　など
- その他　良性腫瘍　ケロイド　バセドウ　など

上記以外の疾患でも、放射線治療の適応となる場合があります。対象症例などお気軽にお問い合わせください。

末梢動脈疾患ワークショップ開催

彦根市立病院から発信します。

私たち彦根市立病院は基本理念である「住みなれた地域で健康を支え安心とぬくもりのある病院」を実現し、地域の皆様に一定の水準の医療が受けられるように日々学習し業務に取り組んでいます。

そのような中、11月22日　小倉記念病院　曽我　義光先生をお迎えし、PAD(末梢動脈疾患）患者さんのカテーテル治療を行いました。2名の患者さんの治療を行い、通常は4時間以上かかる治療で、2時間以内に終了することができました。その患者さんは、治療後初めての外来日に、「歩くのが楽しくて仕方がない、ぴょんぴょん歩けます。」と笑顔で話されていました。

他にも、長浜赤十字病院・草津総合病院などの循環器科の先生が見学に来られました。

今後も、彦根市立病院の職員は医療におけるあらゆる分野でいろんな先生方の治療を拝見し、日々の治療に役立てていきます。地域の皆様の健康を支えられる病院であるようにと心がけてまいります。

当院も、循環器内科　宮澤医師にて下肢外来を行っておりますので、かかりつけ医の先生方のご紹介をよろしくお願いいたします。

New Face！　新任医師紹介

このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしくお願いいたします。

消化器外科　部長
崎久保　守人

- ◆大学卒業年　：　平成15年
- ◆専門分野　：　消化器外科
- ◆専門医　：　日本外科学会認定登録医
- ◆所属学会　：　日本外科学会　日本消化器外科学会　日本臨床外科学会　日本肝胆膵外科学会　日本内視鏡外科学会
- ◆趣味　：　パズルなど
- ◆抱負　：　長らく基礎研究をして臨床から遠ざかっていましたが、地域の皆様に貢献できるように努めます。

小児科
中辻　恵理

- ◆大学卒業年　：　平成26年
- ◆専門分野　：　小児科一般
- ◆所属学会　：　日本小児科学会
- ◆趣味　：　読書
- ◆抱負　：　よりよい診療をこころがけがんばります。
- ◆座右の銘　：　一日一生

12月をもって退職となった医師

- ◆　消化器外科：佐々木　直也
- ◆　小　児　科：西澤　侑香

今までお世話になりました。本当にありがとうございました。